

新市街地の土地区画整理事業における新町名（案）一覧表

地区名	新町名	新町名の意味や由来
新 蛇 田	のぞみ野 <sup>の</sup>	宮城県内で最も早く被災市街地土地区画整理事業に着手した地区であり、様々な方の復興への「望み」が託されているとともに、そこに住む市民の方々が「希望」を抱き素晴らしい街を造ってほしいという願いを込め、また、広い野原のように、みんなが自然に集える街になってほしいことから。
新蛇田南・新蛇田南第二	あゆみ野 <sup>の</sup>	ＪＲ仙石線の新駅「石巻あゆみ野駅」が設置されることや、被災された方々の復興への「あゆみ」、未来への「あゆみ」という思いをこめて。
あけぼの北	あけぼの北 <sup>きた</sup>	「あけぼの」とは、夜が明けはじめ、東の空が明るんでくることを意味することである。また、「北」という表現には、現あけぼの地区の北側にあり、暗闇の下、北極星の如く針路を示してくれるという意味が込められています。
新渡波・新渡波西	さくら町 <sup>まち</sup>	震災を乗り越えた人達が、いつも穏やかで平和で暮らせる町になる願いをこめて、暖かい春の象徴「さくら」をイメージしました。また、地区内には、中学校、幼稚園、保育所が再建される予定であり、「さくら」をキーワードとした町名は、子供たちの笑顔や笑い声がいっぱいの新しい街にふさわしいため。